

平成24年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	2. 幹線道路整備事業
項	2. 道路橋梁費	中事業	
目	3. 道路新設改良費	担当所属	道路建設課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
臨時	補助		43,675	107,680	0		平成24年度	0
							平成25年度	0
							平成26年度	0
							平成27年度	0
							平成28年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	54,230	151,355
本年度当初査定額	54,230	116,679

財源内訳	国庫支出金						一般財源
本年度当初要求額	54,230						97,125
本年度当初査定額	54,230						62,449

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) I・II級幹線道路の拡幅改良等を行い、通学児童を含む社会的交通弱者等をはじめ、道路通行の安全性を確保するとともに、都市計画道路を軸とした道路体系を早期に確立する。</p>	<p>(事業の目的) 市道の内、I・II級幹線道路の拡幅改良等を行うことにより、都市計画道路を軸とした道路網を確立し、市民生活の安心、安全、快適性の向上をめざす。</p>	<p>(事業の効果) 道路拡幅や歩道整備による道路利用者の安全性向上、また、幹線道路網を整備することによる渋滞緩和や交通事故削減など、市民生活の安全性や快適性の向上、さらには地域経済の活性化が図れる。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 厳しい財政状況下での公共事業予算の確保は、市民ニーズに対応した事業実施において最大の課題である。また、道路拡幅用地の確保における地権者の協力が得られず、整備計画に影響が出ている路線がある。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 限られた予算に対応するため、事業の選択と集中を行い、効率的な施工方法を経済的に検討する。なお、路線全体ではなく部分改良などにより一定の効果が得られるような創意工夫をし、最小の経費で最大の効果が得られるように努める。</p>	<p>(見直しについての特記事項) 市内の各地区を結ぶ道路は、幅員が狭く、各所で交通渋滞が発生していることから、交通渋滞の解消、安全性の確保、利便性の向上が求められている。このことから幹線道路等の整備は必要である。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
09	36	36	0
11	272	280	△8
13	851	2,480	△1,629
15	91,240	19,500	71,740
17	9,280	9,379	△99
22	15,000	12,000	3,000

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	14	02	03	01	01	00	社会資本整備総合交付金	54,230	54,230	13,200	41,030
差引一般財源								97,125	62,449	30,475	31,974